



2021年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年12月4日

上場会社名 モロゾフ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2217 URL http://www.morozoff.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 信二
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山岡 祥記 TEL 078-822-5000
 四半期報告書提出予定日 2020年12月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第3四半期の業績 (2020年2月1日～2020年10月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第3四半期	15,744	△16.1	△777	—	△661	—	△632	—
2020年1月期第3四半期	18,756	△0.7	40	△92.3	75	△86.6	△26	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第3四半期	△179.88	—
2020年1月期第3四半期	△7.42	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第3四半期	22,165	15,707	70.9
2020年1月期	23,678	16,591	70.1

(参考) 自己資本 2021年1月期第3四半期 15,707百万円 2020年1月期 16,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年1月期	—	0.00	—		
2021年1月期 (予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年1月期の業績予想 (2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	△13.6	250	△85.1	350	△79.5	10	△99.1	2.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期3Q	3,669,226株	2020年1月期	3,669,226株
② 期末自己株式数	2021年1月期3Q	153,384株	2020年1月期	153,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年1月期3Q	3,516,021株	2020年1月期3Q	3,547,567株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

業績予想に関しましては、3ページ【当四半期決算に関する定性的情報】(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
3. 補足情報	7
販売実績	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、期間前半は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅な落ち込みとなりました。期間後半に入り経済活動が段階的に再開された後は、政府による各種施策の効果もあり緩やかな回復の兆しがみられたものの、感染の再拡大に伴い先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する洋菓子業界におきましても、4月上旬に発令された緊急事態宣言に伴う外出自粛や商業施設の休業などにより消費活動は急速に減退し、かつて経験したことのない程の大きな影響を受けました。5月下旬に緊急事態宣言が解除されてからは、個人消費は持ち直しに転じたものの、新しい生活様式に基づく消費習慣の変化や感染の再拡大の影響などから、回復の足取りは鈍く厳しい状況が続きました。

当社はこのような環境下にあっても、企業スローガン『こころつながり。笑顔かがやく。』のもと、スイーツを通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供させていただくことに注力いたしました。またコロナ禍での対応としては、感染防止対策を徹底しつつ、従業員の雇用を維持しながらの人件費抑制や、経費の圧縮を図るとともに、売上高の変動に対応した柔軟な生産コントロールに努めました。

売上高につきましては、バレンタイン商戦は概ね堅調に推移いたしました。3月からは新型コロナウイルス感染拡大の影響が出始め、4月には緊急事態宣言に伴う百貨店や駅ビルなどの商業施設の休業や時間短縮、不要不急の外出抑制などが実施されたことで、売上高は急激に落ち込みました。6月以降は経済活動が再開されて売上高は徐々に回復基調となったものの、7月からは新型コロナウイルスの感染が再拡大し消費が下振れしたこともあり、当第3四半期累計期間の売上高は15,744百万円(前年同期比16.1%減)となりました。

損益面におきましては、生産高の減少に伴い売上原価率が悪化したことや、人件費の抑制や経費の削減に努めたものの、売上高がそれを上回って大きく減少したことにより、営業損失は777百万円(前年同期は40百万円の利益)、経常損失は661百万円(前年同期は75百万円の利益)、四半期純損失は632百万円(前年同期は26百万円の損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、バターにこだわった焼菓子の新ブランド「ガレット オ ブール」の新規出店や催事展開に加え、インターネット販売に注力し売上獲得に努めたものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、焼菓子や土産、夏季商品などの売上が苦戦し、前年同期を大幅に下回る売上高となりました。

洋生菓子につきましては、「ロイヤルクリームチーズケーキ」などの好調に加え、厳選した素材を使用した半生菓子ブロードランドのリニューアルなどにより売上向上を図ったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もありカスタードプリンやシーズンプリン、ゼリーなどが減少し、前年同期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は14,922百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う巣ごもり需要の増加に対応すべく、一部店舗において導入したパフェやホットサンドなどのテイクアウトメニューや、前事業年度に新規出店した店舗の売上貢献があったものの、緊急事態宣言時には出店先商業施設の休業や営業時間が短縮となり、宣言解除後も感染予防のための席数制限や外出自粛による来店客数の減少がありました。また加えて一部店舗の退店に伴う売上減少の影響も重なり、売上高は821百万円(前年同期比32.2%減)となりました。

(業績の季節的変動等について)

当社の売上高は季節的変動があり、バレンタインデー、中元、歳暮、クリスマスなどの大きなイベントが少ない第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ減少する傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ1,513百万円減少し、22,165百万円となりました。資産の増減の主なもの、現金及び預金の増加額2,043百万円、投資その他の資産の増加額724百万円、仕掛品の増加額611百万円、受取手形及び売掛金の減少額3,881百万円、有価証券の減少額1,199百万円等です。負債は前事業年度末に比べ629百万円減少し、6,457百万円となりました。これは主に電子記録債務の減少額813百万円等によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ883百万円減少し、15,707百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少額808百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月4日に公表いたしました2021年1月期の通期業績予想および期末配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想および配当予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,306,581	4,350,441
受取手形及び売掛金	5,688,208	1,806,613
有価証券	1,199,929	—
商品及び製品	2,356,135	2,519,944
仕掛品	287,749	898,927
原材料及び貯蔵品	404,123	444,319
その他	85,450	248,243
貸倒引当金	△22,454	△7,500
流動資産合計	12,305,723	10,260,990
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,723,376	2,638,650
土地	3,234,338	3,234,338
その他(純額)	2,070,524	1,986,633
有形固定資産合計	8,028,240	7,859,623
無形固定資産	154,621	130,085
投資その他の資産		
投資有価証券	1,607,708	1,490,027
その他	1,586,267	2,429,313
貸倒引当金	△4,046	△5,000
投資その他の資産合計	3,189,929	3,914,341
固定資産合計	11,372,791	11,904,050
資産合計	23,678,515	22,165,040

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,133,545	1,568,497
電子記録債務	1,824,145	1,010,402
短期借入金	1,850,000	1,850,000
未払法人税等	146,827	51,125
賞与引当金	230,780	505,912
その他	1,375,744	1,065,987
流動負債合計	6,561,041	6,051,924
固定負債		
退職給付引当金	69,341	72,830
環境対策引当金	2,085	2,085
その他	455,031	331,027
固定負債合計	526,457	405,942
負債合計	7,087,498	6,457,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,919	3,921,919
利益剰余金	8,876,219	8,067,949
自己株式	△662,718	△664,408
株主資本合計	15,872,888	15,062,928
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	375,974	354,105
土地再評価差額金	342,153	290,138
評価・換算差額等合計	718,128	644,244
純資産合計	16,591,016	15,707,173
負債純資産合計	23,678,515	22,165,040

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
売上高	18,756,476	15,744,586
売上原価	9,667,507	8,440,339
売上総利益	9,088,968	7,304,246
販売費及び一般管理費	9,048,404	8,081,663
営業利益又は営業損失(△)	40,564	△777,417
営業外収益		
受取利息	441	3,415
受取配当金	25,223	23,670
保険解約返戻金	—	77,084
その他	38,259	37,888
営業外収益合計	63,924	142,058
営業外費用		
支払利息	20,409	20,484
その他	8,484	5,676
営業外費用合計	28,893	26,160
経常利益又は経常損失(△)	75,595	△661,519
特別利益		
投資有価証券売却益	2,681	—
雇用調整助成金	—	145,293
特別利益合計	2,681	145,293
特別損失		
固定資産除売却損	25,807	22,877
投資有価証券売却損	—	10,009
投資有価証券評価損	—	31,113
減損損失	1,960	80,600
従業員休業補償等	—	138,474
特別損失合計	27,767	283,075
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	50,509	△799,302
法人税、住民税及び事業税	62,704	62,099
法人税等調整額	14,124	△228,939
法人税等合計	76,828	△166,840
四半期純損失(△)	△26,319	△632,461

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛や商業施設の休業などにより、当社の事業活動は大きな影響を受けました。緊急事態宣言の解除後は回復基調にあるものの、当事業年度末までは重要な影響が継続するものと仮定し、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性があり、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

3. 補足情報

販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメント別商品群別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	前年同四半期比 (%)
洋菓子製造販売事業計(千円)	14,922,975	85.1
(内訳)		
干菓子群(千円)	10,440,688	84.5
洋生菓子群(千円)	3,906,464	86.6
その他菓子群(千円)	575,822	84.8
喫茶・レストラン事業計(千円)	821,610	67.8
合計(千円)	15,744,586	83.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分(商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。 (キャンディ) ファンシーキャンディ、ココアピーナッツ等。 (焼菓子) ファヤージュ、アルカディア、オデット等。 (デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。 (詰合せ) ハッピーパーティ、サマーロイヤルタイム、サマーイング等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。 (ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。 (半生菓子) ブロードランド、アーモンドケーキ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。